

個別の教育支援計画(青年期～成人期 特別支援学校の例)

ふりがな 氏 名		〇〇〇〇 (生徒名)	
長期 目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会生活に必要な生活習慣や態度, コミュニケーションの手段を身につけることができる。</li> <li>・就労に必要な作業能力や態度を身につけるとともに, 言語・数量への理解を進めていくことができる。</li> </ul>		
項 目	本人・保護者の願い	各項目の目標	機関
A 生 活 習 慣	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周りの人たちに合わせながら, 食事ができるようにしてほしい。</li> <li>・外出前に身繕いを意識できるとよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一定の時間の中で休息をとりながら食事ができる。</li> <li>・手鏡や姿見で自分の身繕いを確認し整えることができる。</li> </ul>	療育機関  〇〇特別支援学校
B 社 会 参 加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の方の迷惑になることは我慢することができるようになってほしい。</li> <li>・だれにでも明るく挨拶し, 周りの人とかかわりを楽しんでほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会での対人関係で守るべきマナーを理解することができる。(ルールブックの活用)</li> <li>・地域での活動への参加を促し, 新しい出会いや経験を楽しむことができる。</li> </ul>	〇〇特別支援学校 NPO 法人〇〇 社会福祉協議会 親の会等 〇〇大学病院 〇〇先生
C 知 的 活 動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・終了時刻を意識して作業や余暇活動ができるとうい。</li> <li>・自分の氏名, 住所, 電話番号などを正しく伝えたり書いたりできるようにしてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時刻を読めるだけでなく, 時間の長さがわかり, そこでできる作業や活動の見当をつけることができる。</li> <li>・質問に応じて自分の氏名, 住所, 電話番号などを伝えたり書いたりすることができる。</li> </ul>	〇〇特別支援学校 療育機関
D 進 路 ・ 就 職	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あまり人に頼らずに一定の仕事をごこなしていけるようになってほしい。</li> <li>・将来的にはできれば企業就労させたい。(特例子会社など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・与えられた課題や作業を行うにあたり, 手順書を見ながらある程度自分で進めていくことができる。</li> </ul>	〇〇特別支援学校 社会福祉協議会 NPO 法人〇〇

学校名 茨城県立〇〇特別支援学校			
	支援内容・手立て【合理的配慮の観点】	評価	機関・担当
A 生活習慣	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者を通して民間療育機関〇〇と連携し、認知特性やその変容を把握する。</li> <li>・学校教育に関しては本校の「個別の指導計画」による。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知特性などを専門的な見地から知ることができ、個に応じた指導に活用できた。</li> </ul>	療育機関 〇〇特別支援学校
B 社会参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者を通して〇〇大学病院〇〇先生と連携し、健康状態(最近のてんかん発作の状態、投薬の種類や量、回数)を把握する。</li> </ul> <p>【1-2-3 心理面・健康面の配慮】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人の健康状態を総合的に把握でき、学校での行動の様子を解釈するにあたって参考にすることができた。</li> </ul>	〇〇大学病院 〇〇先生
C 知的活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉による指示だけで行動することが難しいので、わかりやすい作業工程表などに配慮する。</li> <li>・簡潔でわかりやすい指示や質問をする。</li> </ul> <p>【1-2-2 学習機会や体験の確保】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工程表やタイムタイマーを見ながら見通しをもって活動に取り組むことができるようになってきた。</li> <li>・質問に応じて自分の氏名、住所が書けるようになった。</li> </ul>	〇〇特別支援学校 療育機関
D 進路・就職	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者を通して社会福祉協議会と連携し、地域での生活や交流の様子を把握し、教育活動に生かすと共に地域住民への理解啓発に努める。</li> <li>・保護者を通してNPO法人〇〇と連携し、他施設での様子などを把握し、教育活動に生かす。</li> </ul> <p>【2-2 地域の理解啓発を図るための配慮】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域での生活や交流の様子を把握でき、総合的な学習に活用することができた。</li> <li>・他施設での様子把握でき、進路指導に活用することができた。</li> </ul>	社会福祉協議会 NPO 法人〇〇
<引継事項>			
作成日 年 月 日【新規・更新】( 回) 学校名 作成担当 (担当者氏名 (役職))			

私は以上の内容に同意するとともに、関係機関に開示することを承諾します。

年 月 日 氏名 (保護者名) 印